

「努力」は人をうらぎらない！

夏休み明けの子供たちは、休み中の楽しい思い出をたくさん詰め込んで、元気に登校してきております。大きな事故や病気もなく、全員が元気に2学期を迎えることができたことを、心より感謝申し上げます。

さて2学期は、3人の転入生を迎え、小学部29名、中学部5名、合計34名でスタートしました。子供たちには、勉強や行事などのさまざまな活動や生活の中で、「できた」「わかった」「大成功だ」という経験をたくさんしてほしいと思っています。

さて、この休みに、渋野日向子プロが、「ゴルフのメジャー大会で、優勝」という記事を目にしました。日本人では、42年ぶりとなる快挙です。

印象に残ったのは、優勝がかかった緊張した場面でも、「笑顔」を大切にするとともに、攻めの気持ちでプレーした姿です。そんな日向子プロを知っている小学校6年生時代の担任からのメッセージも紹介されていました。（その一部を紹介します。）

世間の日向子ちゃんのイメージは、ニコニコしていて、あっという間に、簡単に優勝をつかんだというものかもしれません。でも、私が知っている小学校時代の彼女は、器用というより「努力の人」。優勝もまさかというより、「あの努力をしていれば、いずれ大きな結果が出てもおかしくない」と思っていました。

日向子ちゃんは、体格もよく、パワーもありました。授業でラグビーをやらせても、ブルドォーザーが走るような活躍でしたが、裏では何回も何回も練習して成し遂げるタイプでした。また、当時の日向子ちゃんは、ソフトボールに熱中し、ピッチャーとして上達しようと必死でした。1年中、毎日のようにお父さんが帰宅してから校庭にやってきて2人で暗くなるまでずっと投球練習。長期休み中でも変わりませんでした。私はそれを職員室で仕事をしながら“当たり前の光景”として見ていました。

忘れちゃいけないのは、昔から「文武両道」でもあったこと。お母さんから「うちは学校が最優先。それがあってのスポーツですから。勉強をおろそかにはしてほしくないの、できていないことがあれば、教えてください。大きな大会の前でも、宿題免除はしないでください」と、とにかく何事も一生懸命。ずっと努力していました。

「努力の天才」と言われる日向子プロは、栄光をつかむための力を、小学校時代に着実に蓄えていたのです。自分が納得するまで努力を続けることが、メジャー大会で優勝というすばらしい結果につながることもできたのですね。

「努力は人をうらぎらない」という名言もあります。

子供たちには、「努力」することを大切にして着実に歩いていけるよう、そして努力することの素晴らしさを味わえるように支援していきたいと思っています。



◆ 転入児童紹介 ◆

小学部 1 年生

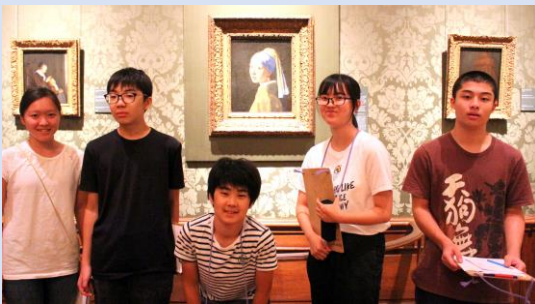
小学部 3 年

小学部 4 年

美術館で名画を鑑賞 & 視写しよう！

8月28日(水)に中学生が、「Mauritshuis (マウリッツハイイス)美術館」に出かけ、美術の授業を行いました。マウリッツハイイス美術館というと、世界的にも名のあるフェルメールやレンブラントの名画が多数展示されている美術館です。

子供たちは、絵画の造形美や作者の思いを想像しながら、展示されている名画をじっくりと鑑賞しました。また、お気に入りの絵画の前で視写に挑戦してきました。



プレイグラウンドがリニューアル！

6月下旬から工事に入っていたプレイグラウンドが完成しました。保護者の皆様には、工事期間中の登下校等にご協力をいただきありがとうございました。

夏休み後の子供たちにとっては、プレイグラウンドの遊具で遊ぶのが一番の楽しみなようです。休み時間には、友達を誘って元気に遊ぶ姿を見かけています。

学校では、遊具の特性を考慮して遊びのルールを決め、楽しく安全な遊びができるように進めています。



◇ 主な行事予定 ◇

- | | |
|--------|-----------------------|
| 2日(月) | 全校集会 |
| 8日(日) | 日曜参観・学級懇談・PTAレクリエーション |
| 11日(水) | 中学部実力テスト |
| 13日(金) | 振替休業(日曜参観) |
| 16日(木) | 委員会活動 |
| 25日(水) | 中学部中間テスト |
| 26日(木) | 中学部中間テスト |